

1 あさになったのでまどをあけますよ



荒井良二/著
偕成社
1300円
E

「あさになったのでまどをあけますよ」と、窓を開けると、自然豊かな町、車やビルがたくさんある都会、一面海の風景。いつも何気なく過ごしている自分の周りに目を向け、やっぱりここがすきと気付くことができる一冊です。

2 あらいぐまのおふろやさん



花之内雅吉/作・絵
鈴木出版
1100円
E

あらいぐまのおふろやさんには動物のお客さんがどんどんやってきます。お風呂に入るお客さんはとってもいい気持ち。しかけ絵本になっているので、ページをめくるのも楽しい一冊です。

3 おおきなゾウとちいさなゾウ



たしろちさと/作・絵
教育画劇
1300円
E

目指すは水の楽園。小さな象は旅の途中、砂の嵐に巻き込まれてひとりぼっちになってしまいます。見つけた足跡を追っていくと、そこには大きな象が……。旅をとおした大きな象と小さな象の心温まる絵本です。

4 おかあさんだもの



サトシン/作
松成真理子/絵
アリス館
1300円
E

辛いことがあっても、泣きたいことがあっても、あの日のことを思い出せば大丈夫。だって、わたしはあなたのお母さんだもの。家族・いのち・未来をいっしょに考える赤ちゃん誕生の絵本です。

5 おかあさんのまほうのおうかん



かたおかけいこ/作
松成真理子/絵
ひさかたチャイルド
1300円
E

しょうくんは、泣き虫の男の子。いつも「えーん、えーん」と泣いています。そんなしょうくんが、5歳の誕生日にお母さんからもらったのは「魔法の王冠」。お母さんの願いや愛情がたくさんつまった心温まる絵本です。

6 おじちゃんせんせい
だいだいだーいすき



むらおやすこ/作
山本祐司/絵
今人舎

1400円

E

にじの保育園におじちゃん先生がやって来ました。大きなかばんを持ってやって来ました。みんなはおじちゃん先生が、だいだいだーい好き。

ある保育園の実話をもとにした心温まる絵本です。

7 おべんとう



小西英子/作

福音館書店

800円

E

お弁当箱を用意して、
「さあて、何から入れようか？」

一番最初に入れるのは・・・。

子どもと一緒に想像をふくらませ、会話をしながら、おやこの大切なひとときを楽しめる絵本です。

8 おやゆびさん



風木一人/作
ひろかわさえこ/絵
鈴木出版

1100円

E

他の指からひとり離れているおやゆびさんは、なんだかちょっと寂しそう。でも、みんなとは違うから、みんなと仲良くできるんです。

何度読んでもほんわか、幸せな気持ちになる一冊です。

9 カーリーさんの庭



ジェイン・カトラ - /作
ブライアン・カラス/絵
礒みゆき/訳
ポプラ社

1300円

E

カーリーさんの庭の草花はカタツムリのせいで穴だらけです。ご近所さんたちがカタツムリの退治の仕方を教えますが、カーリーさんはこのままがいいと何もしません。一人ひとりの思いや願いを大切にしている絵本です。

10 かくかくかっくん



新井洋行/作・絵

学研教育出版

880円

E

かくかくかっくんが、動物にふれるとあっという間に四角い動物に変身します。四角くなった動物たちをぜんぶ集めると、大きな四角のできあがりです。

楽しみながら形や動物を認識できる絵本です。

1 1 かにのしょうばい



新美南吉/作
山口マオ/絵
鈴木出版

1200円

E

かにがとこやをはじめました。ところが、お客がだれも来ません。かには、「とこやというしょうばいは、たいへんひまなものだな。」と思いました。そこで、お客を探しに行きますが……。くすっと笑えるユーモアのある一冊です。

1 2 ぐるぐるカレー
ぐるぐるえほん



矢野アケミ/作

アリス館

950円

E

まあるいかたち、なにいれる？たまねぎ、おにく、にんじん、じゃがいも、ブロッコリー。カレーの材料を全部入れたら回してみよう！ぐるぐるぐるぐる…。

色鮮やかな絵に、リズムカルな言葉。何度もページをめくりたくなる1冊です。

1 3 こぐまとめがね



こんのひとみ/作
たかすかずみ/絵
金の星社

1200円

E

大好きだったおばあちゃんの形見のめがねをいつも掛けているこぐま。悲しめでいっぱいこのこぐまは、食事をとらずにある日とうとう倒れてしまいました。そんなこぐまに対するうさぎの沢山の優しさに触れることのできる絵本です。

1 4 これはおひさま



谷川俊太郎/ぶん
大橋歩/え
復刊ドットコム

1400円

E

「これはおひさま」から、どんどん言葉が続いていきます。最後にまた「おひさま」に戻り、すべてがつながっているという楽しみがある絵本です。

何度も何度も声に出して、全部覚えたくなる一冊です。

1 5 さかさんぼの日



ルース・クラウス/作
マーク・シーモント/絵
三原泉/訳
偕成社

1100円

E

男の子はおもしろいことを思いつきました。「きょうは、『さかさんぼの日』」。さかさんぼの日だからズボンのうえにパンツをはいて、うわぎのうえにシャツをかぶります。それから男の子はどうしたのかな？ユーモア溢れる一冊です。

16 小さなミンディの大かつやく



エリック・A・キメル/文
バーバラ・マクリントック/絵
福本友美子/訳
ほるぷ出版

1500円

E

ニューヨークのシナゴークという大きな教会堂に住んでいる小さな小さなクレイン一家。ハヌカというお祭りに必要なるろうそくを取りに行くことになったクレイン一家のミンディ。ミンディを待ち受けていたのは・・・。
ハラハラ、ドキドキがいっぱいのお話です。

17 てのひらすいぞくかん
てのひらからうまれるうみのいき
ものたちをかいてみよう!



ハン・テヒ/さく
やのもみこ/やく
瑞雲舎

1200円

E

ぷくぷくぶくぶく。家族みんなで水中探検。海の国はとってもきれい。でもよく見てみると・・・。

手のひらを使って描かれた絵がとっても魅力的です。自分でも描いてみたいくなる描き方の説明もついています。

18 でんでんどん



井上ようこ/作
渡辺有一/絵
ひさかたチャイルド

680円

E

「トンネルからきしゃがでてきたよ。さかみちだからゆっくりゆっくり。でんでんどん。つぎがでてくる。でんでんどん。どんでんどんでくる。でんでんどん。」

リズムカルな音に合わせて出てくるきしゃの中身も、とっても気になる一冊です。

19 ばけばけばっば



藤本ともひこ/著
ハッピーオウル社

1100円

E

いろいろな色や形の葉っぱ。葉っぱの中には誰かが隠れていますよ。

誰かな、誰かな？親子でいっしょに、ふうっと葉っぱを吹いて探してみましよう。

親子の会話を楽しめる絵本です。

20 みたいみたいみてみたい



いしばしひろやす/文
・絵

扶桑社

1400円

E

「ふつうのふじさんこうだけど、みたいみたいみてみたい。こんなふじさんみてみたい。こんなえんとつみてみたい。こんなえのぐみてみたい。」

こんなのあったらいいなと思う、楽しい夢がいっぱいつまった絵本です。